

2011ネクスト・ネイチャー・プロダクツ

～ 生物に学ぶ、次世代ものづくり技術展 ～

出展者アンケート結果

開催趣旨:

2010年に開催された「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」以降、生物多様性の保全と持続可能な利用の両立は更に重要となった。また、「ものづくり」についても従来の資源活用技術だけでなく、生物多様性の保全と持続可能な利用を両立した、新たな発想での技術開発が求められている。

本展示会は、前回に引き続き、生物が持つ特異な構造と、それらが有する様々な機能を模倣した、省エネルギー・省資源型ものづくりとして注目されている「次世代バイオメティクス」と関連する「ネイチャーテクノロジー」「ロボット」等に関する研究成果、製品等の展示コーナーを会場内に設け、その技術紹介、商談等と技術情報交流の促進を目的として開催する。

主催: (社)日本能率協会
 会期: 2011年11月16日(水)～18日(金)10:00～17:00
 会場: 東京ビッグサイト展示場東5・6ホール ものづくりNEXT展示会場内
 出展者数: 37社・団体(48小間)

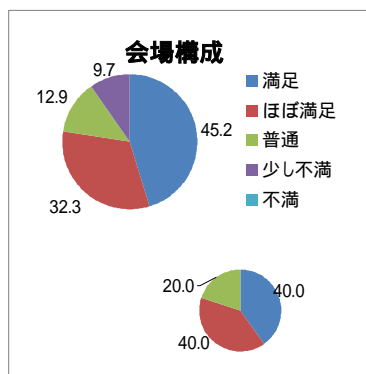
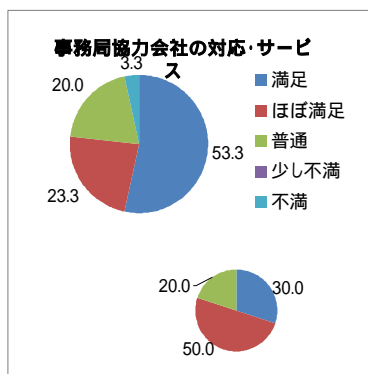
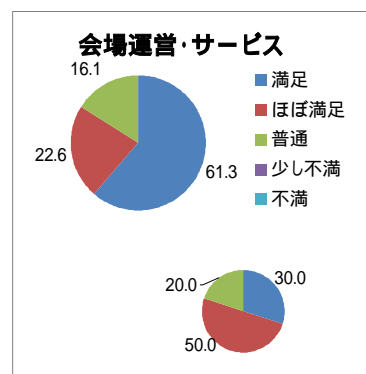
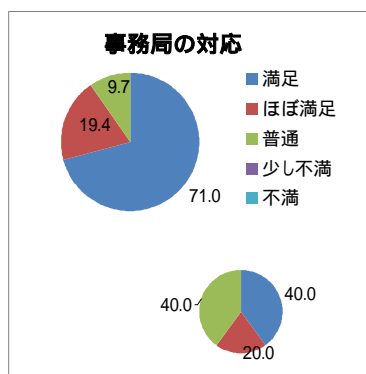
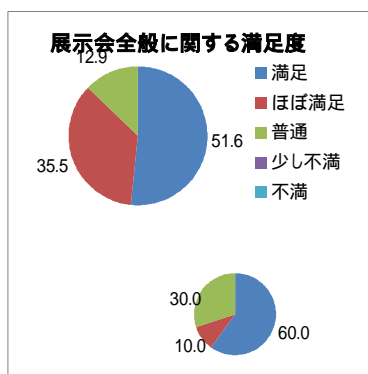
アンケート回答数: 29社・団体
 アンケート回答率: 78%

出展者一覧

出展者 (37社・団体)	出展内容
アースクリエーション	乳酸菌から生まれた天然消臭剤「バイオフィーター」
EME	真空攪拌脱泡ミキサー
池上産業/日本ユニバーサル電気	アセチル処理された高機能化木材「アコヤ」
エアロ・アクアバイオメカニズム学会	生物規範型ロボット、出版物、学会活動紹介
SNT	ハスの葉のように水を弾く表面に変えてしまう超撥水スプレー
王子製紙	ナノドットアレイ
大阪府立大学 大学院工学研究科 化学工学分野 小西研究室	バイオをベースにしたレアメタル・貴金属のリサイクル技術
科学技術振興機構 バイオサイエンスデータベースセンター	生命科学分野のデータベースサービス
川村理化学研究所	機能性無機ナノ構造体の設計技術
京都大学 エネルギー理工学研究所ADMIRE計画	京大・先端研究設備利用の民間企業への提供
慶應義塾大学 白鳥研究室	生物表面を模倣した撥水・親水コーティング
サカタのタネ	アルゼンチンと共同開発・メカドニア「イエロークロサイト」
産業技術総合研究所/名古屋市工業研究所	生物に学ぶ、動的濡れ性の制御技術
JST.ERATO高原ソフト界面プロジェクト	生物に学ぶ新しい接着
新日本電波吸収体、日清オイリオグループ	電波吸収体、フィットボラスSH(大豆種皮由来焼成材)
スギノマシン	バイオマス原料由来 ナノファイバー
西進商事	1機で様々な測定が行えるマルチボンドテスター
生体分子計測研究所	高速(動画)原子間力顕微鏡「NanoExplorer」
積水化学工業	フラクタル日よけ「エアリーシェード」
たなか造園	緑のリサイクル 素材を生かす
地球洗い隊	バイオ洗剤/化粧品「とれる・NO.1」
千葉県産木質プラスチック連絡協議会	千葉県産木質プラスチック製品
千葉大学 大学院工学研究科	ハチドリ規範型羽ばたきロボット
東京工業大学 彌田・長井研究室	浄化機能塗料・ナノ分離膜
東京大学 先端科学技術研究センター 神崎研究室	昆虫操縦型ロボット、サイボーグ昆虫、昆虫の嗅覚機能を利用した匂いセンサ
東京農業大学 農学部 長島研究室(昆虫機能開発)	エリシク(ニューハイブリッドシルク)、クリキウ発色、タムシステム、シルク製品(たんぱく利用)
東北大学 原子分子材料科学高等研究機構 多元物質科学研究所	自己組織化プロセスによって作製したバイオメティクス材料
東北大学 環境科学研究科 石田研究室	ネイチャー・テクノロジーに関するパネル
名古屋大学 エコトピア科学研究所 超高压電子顕微鏡施設	高性能電子顕微鏡群によるナノ・バイオサイエンス支援
日本精工	微細作業用マニピュレーションシステム
日本理文大学 マイクロ流体技術研究所	マイクロエコ風車、トンボ型超小型飛翔ロボット
日本ペイントマリン	イルカとマグロから学ぶ低摩擦型船底塗料「LF-Sea(エル・エフ・シー)」
バイオテンプレート研究会	植物マイクロコイルを用いた電磁波材料
表面化工研究所	「Metalize Finishing System」と「Prasmon KASYOKU」
フリッチュ・ジャパン	ドイツ フリッチュ社製 遊星型方式粉碎機
松田養蚕場	カイコの糸に学ぶタンパク質製品
明治大学 理工学部	天然物由来の新素材(高分子材料、接着材 など)

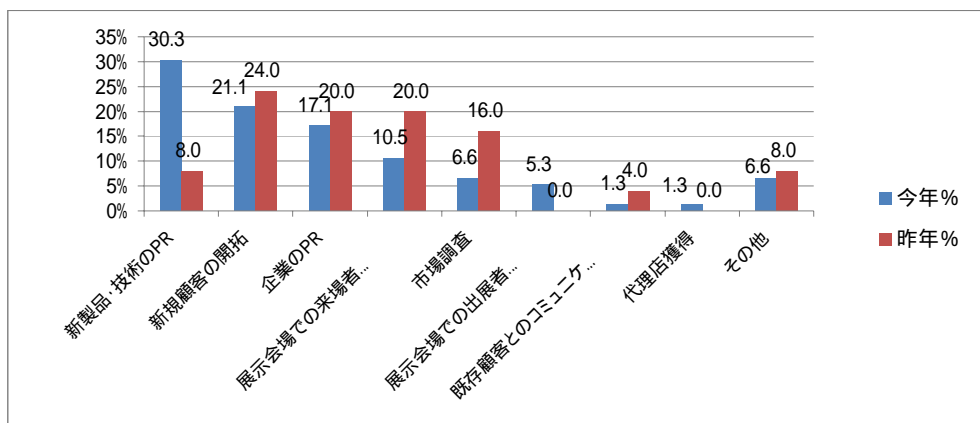
Q1. 本展示会の満足度について

項目	満足	ほぼ満足	普通	少し不満	不満	合計
展示会全般に関する満足度	16	11	4	0	0	31 人
	51.6	35.5	12.9	0.0	0.0	100.0 %
事務局の対応	22	6	3	0	0	31 人
	71.0	19.4	9.7	0.0	0.0	100.0 %
会場運営・サービス	19	7	5	0	0	31 人
	61.3	22.6	16.1	0.0	0.0	100.0 %
事務局協力会社の対応・サービス(基礎工事、電気、ガス、警備、清掃等)	16	7	6	0	1	30 人
	53.3	23.3	20.0	0.0	3.3	100.0 %
会場構成(小間ゾーニング、案内看板、登録受付、休憩所等)	14	10	4	3	0	31 人
	45.2	32.3	12.9	9.7	0.0	100.0 %



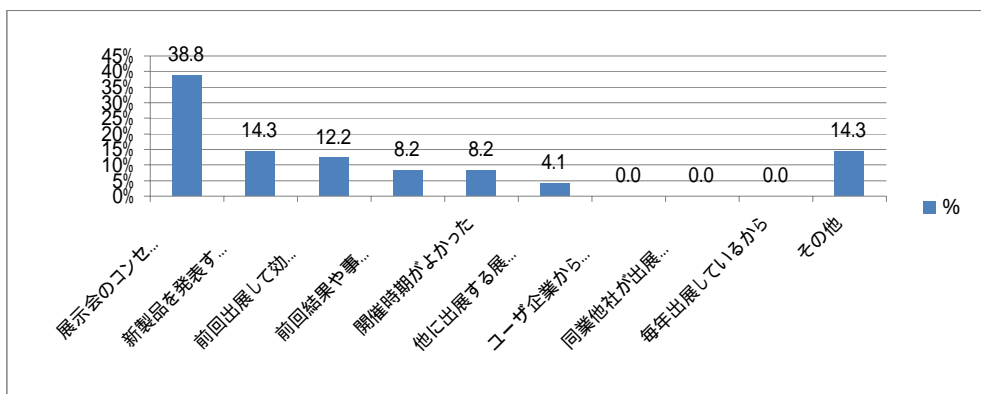
Q2. 展示会に出展された目的は何ですか？(複数回答可)

項目	社数	今年%	昨年	昨年%
新製品・技術のPR	23	30.3	2	8.0
新規顧客の開拓	16	21.1	6	24.0
企業のPR	13	17.1	5	20.0
展示会場での来場者との商談	8	10.5	5	20.0
市場調査	5	6.6	4	16.0
展示会場での出展者との商談	4	5.3	-	-
既存顧客とのコミュニケーション	1	1.3	1	4.0
代理店獲得	1	1.3	-	-
その他	5	6.6	2	8.0
合計	76	100.0	25	100.0



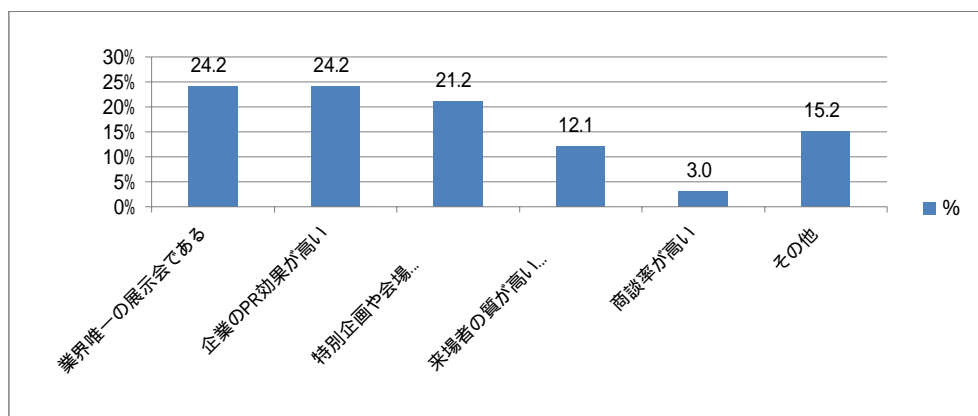
Q3. 今回、本展を選択された理由は何ですか？(複数回答可)

項目	社数	%
展示会のコンセプト、企画内容が製品の方向性と合致しているため	19	38.8
新製品を発表する場として来場者層が適していたから	7	14.3
前回出展して効果があったから	6	12.2
前回結果や事務局員の説明から期待感を持った	4	8.2
開催時期がよかった	4	8.2
他に出席する展示会が見当たらない	2	4.1
ユーザ企業からの紹介・指示	0	0.0
同業他社が出展しているから	0	0.0
毎年出展しているから	0	0.0
その他	7	14.3
合計	49	100.0



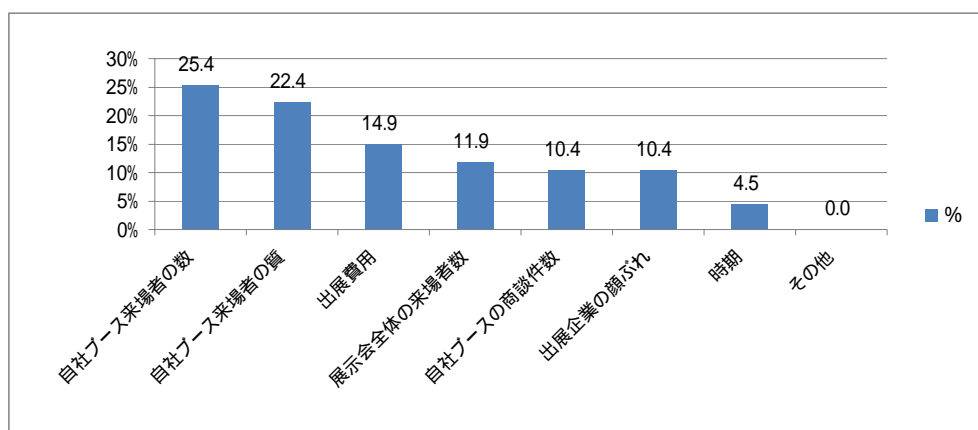
Q4. 本展を他展と比較した際の本展の強みは何とお考えでしょうか？(複数回答可)

項目	社数	%
業界唯一の展示会である	8	24.2
企業のPR効果が高い	8	24.2
特別企画や会場内講演会・セミナーなど内容が充実している	7	21.2
来場者の質が高い(来場ターゲット層がマッチしている)	4	12.1
商談率が高い	1	3.0
その他	5	15.2
合計	33	100.0



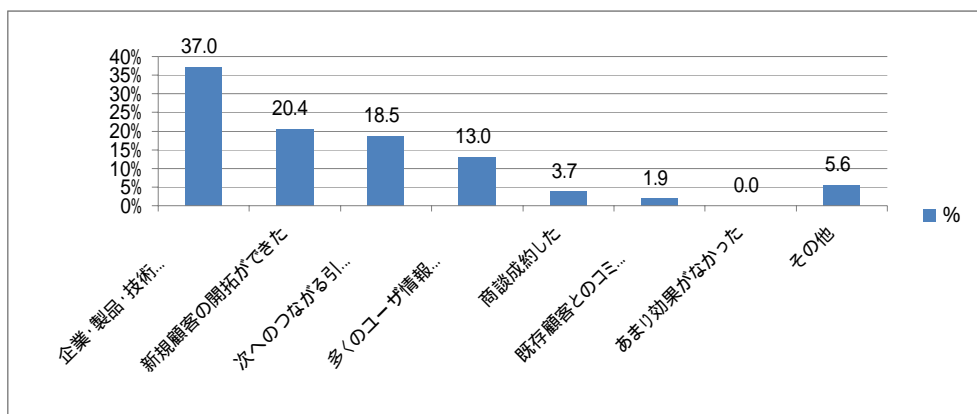
Q5. 展示会の効果測定をする際、何を重視されますか？(複数回答可)

項目	社数	%
自社ブース来場者の数	17	25.4
自社ブース来場者の質	15	22.4
出展費用	10	14.9
展示会全体の来場者数	8	11.9
自社ブースの商談件数	7	10.4
出展企業の顔ぶれ	7	10.4
時期	3	4.5
その他	0	0.0
合計	67	100.0



Q6. 本展示会に出展した成果は？ (複数回答可)

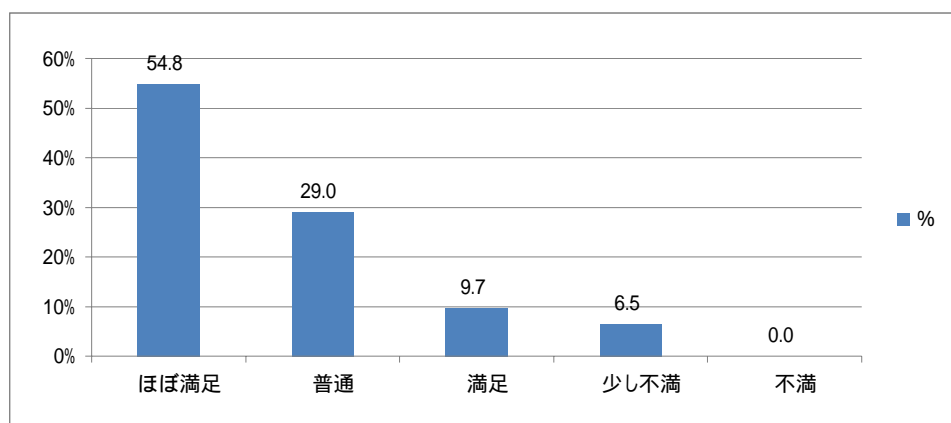
項目	社数	%
企業・製品・技術の宣伝になった	20	37.0
新規顧客の開拓ができた	11	20.4
次へのつながる引き合い・商談ができた	10	18.5
多くのユーザ情報が得られた	7	13.0
商談成約した	2	3.7
既存顧客とのコミュニケーションが深まった	1	1.9
あまり効果がなかった	0	0.0
その他	3	5.6
合計	54	100.0



Q7. 来場者についてお伺いします

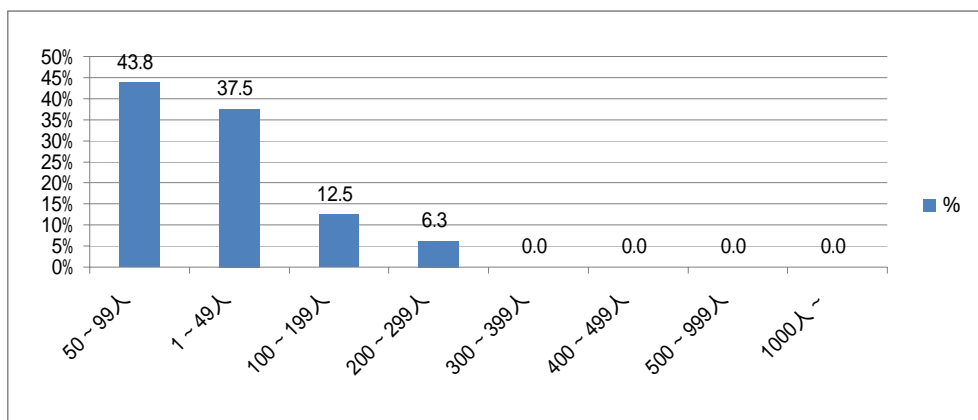
7-1. 来場者の質に満足されましたか？

項目	社数	%
ほぼ満足	17	54.8
普通	9	29.0
満足	3	9.7
少し不満	2	6.5
不満	0	0.0
合計	31	100.0



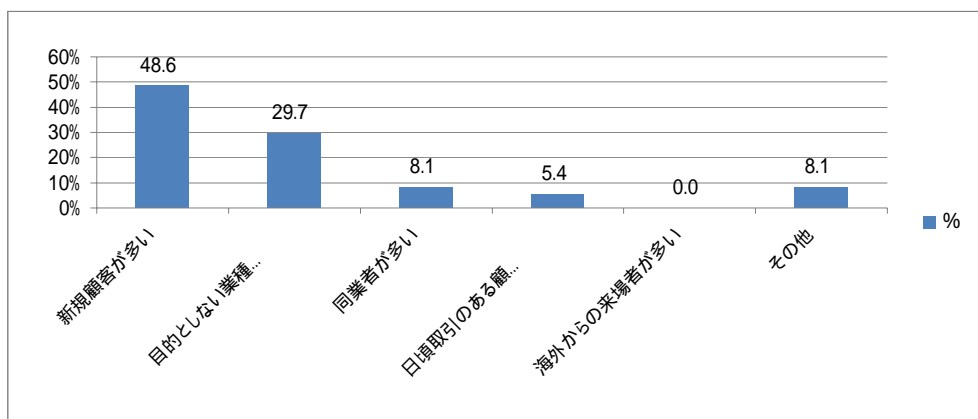
7-2. 会期中貴社のブースに1日平均何人の来場者が訪れましたか？

項目	社数	%
50～99人	14	43.8
1～49人	12	37.5
100～199人	4	12.5
200～299人	2	6.3
300～399人	0	0.0
400～499人	0	0.0
500～999人	0	0.0
1000人～	0	0.0
合計	32	100.0



7-3. 貴社のブースに訪問があった来場者層についてお聞かせください。(複数回答可)

項目	社数	%
新規顧客が多い	18	48.6
目的としない業種、職種の来場者が多い	11	29.7
同業者が多い	3	8.1
日頃取引のある顧客が多い	2	5.4
海外からの来場者が多い	0	0.0
その他	3	8.1
合計	37	100.0



Q8. 次回のご出展についてお聞かせください。

来年度の開催について詳細は未定ですが、継続開催する予定ですので、下記につきご記入下さい。

2012ネクスト・ネイチャー・プロダクツ

会期:2012年11月14日(水)～16日(金) 会場:東京ビッグサイト(予定)

項目	社数	今年%	昨年	昨年%
出展を検討する	22	95.7	7	87.5
出展しない	1	4.3	1	12.5
合計	23	100.0	8	100.0

